

撮影・江平龍宣（※は編集部）

なんど豪快 飼料米・飼料イネ

山口市・海地博志さん

全国で広がる飼料米・飼料イネ。超多収品種の力を引き出すことで、飼料米—とどり、飼料イネ—とどりも夢じゃない！（124ページからの記事もご覧下さい）

山口県の秋川牧園飼料米生産者の会で反収トップを争う海地博志さんと、超多収品種・北陸193号の田んぼ。海地さんの例年の収量は、乾モミで10a当たり900kg～1t

YANMAR
Solutioneering Together



高品質な野菜づくりと省力化を ヤンマーナプラシステムがお応えします。

野菜トレイ



養土・肥料



野菜養土
●保水性、通気性に優れたpH調整済みの配合養土です。
●低温期育苗用 H-150もあります。



パーミキュライト
●保水性を高めるとともに発芽を促します。



育苗専用肥料 ナプラパワー (追肥用)

播種

吸引精密播種機 YVR100A
●上部の吸着板に種子を吸引し、反転後放出することで、確実に播種します。100トレイ/時の能率です。

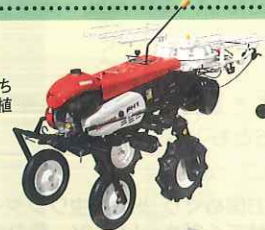


野菜播種機 SV400S
●トレイ連続供給→養土充填→灌水→鎮圧穴あけ→播種→覆土→灌水の一連の作業が自動で400箱/時という高能率が実現。

移植

汎用移植機 PH1
●セル成型苗はもちろんポット苗の定植も行えます。

ロータリーボットに手で苗を供給する汎用型移植機です。



全自動野菜移植機 PF1
●セル成型苗のトレイをセットするだけの全自動タイプ。



乗用全自動野菜移植機 PF2R
●高速対応の乗用全自動で、移植作業が省力化。



www.yanmar.co.jp

本社 〒530-8311 大阪市北区鶴野町1番9号 梅田ゲートタワー

ヤンマー株式会社



長い稻穂が垂れ下がった、海地さんの北陸193号

モミ数二倍 超多収の 北陸一九三号



↑平均的な株のうち、もっとも大きな穂を比較。北陸193号は1次枝梗が長く、粒数は主食用米(ヒノヒカリ)の2倍以上ある(*)



↑この時期、北陸193号は主食用米(ひとめぼれ)より葉色は淡く、茎数も少ない(どちらも坪50株植え)。元肥は鶏糞堆肥1t(10a当たり、以下も)のみ。ここから尿素でチッソを4.7kg追肥して分けつを急増させるのが、海地さんの飼料米多収法。主食用米は元肥一発肥料をチッソで6kg。追肥はしない(*)



↑穂数はほぼ同じでも、北陸193号のほうが草丈も穂も断然大きい

海地さんの 飼料米・飼料イネ品種



北陸193号は長い穂に長粒のモミがいっぱい着く。ホシアオバはモミ数は控えめだが、大粒。たちすずかの穂は非常に小さい(ヒノヒカリは主食用)



*海地さんをはじめ、各地の飼料米・飼料イネの取り組みや、栽培方法を撮影したDVD作品が、来年一月末に完成する予定です。

たちすずかの田んぼから、ひょっこり顔を出す海地さん(身長168cm)。たちすずかは、畜産農家が収穫・梱包し、和牛用のWCS(ホールクロップサイレージ)になる。倒伏の心配がないので、元肥に牛糞堆肥を2tと元肥一発肥料をチツソで9kg。さらに、葉色がさめるたびに硫安をチツソで合計8kg、積極追肥。10a当たり合計3tのロールがとれる



たちすずかで 飼料イネ三つどり



農家や秋川牧園の関係者、山口県農林総合技術センターや農林水産部の担当者、馴染みの資材屋さんなど、総勢26名が参加（E）



山口県・秋川牧園飼料米生産者の会

みんなの知恵で、 目指せ飼料米一tどり

飼料米の田んぼを熱心に見る、秋川牧園飼料米生産者の会の皆さん（江平龍宣撮影、以下Eも）

飼料米の多収技術を磨く場が年に二回の圃場巡回。九月三十日、このご時世で、イネづくりが楽しくなつてしまつた人たちと、刈り取り前の飼料米を見に行った。

当日、集合場所で配られた予定表にあつたのは、三〇分刻みのハードスケジュール。一日で山口市、防府市内の合計一四圃場を回るらしい。挨拶もそこそこに、農家と、秋川牧園の人たちや県の職員が長蛇の列をなして出発！

さすがに五年目となると、みなさん慣れたものだ。田んぼに車を横付けし、思い思いの方向へ散らばっていく一行。ある人は一株を握りしめてジッと見つめ、またある人は穂をちぎって長さを確かめたり、傘で株元を掻き分けてウンカの量を確認したり……、まるで田のようなふるまいだ。

——そして、誰もが唸る、海地博志さんの「北陸一九三号」。

今どき、「米をいっぱいつくってください」なんて珍しいことを言う山口県の(株)秋川牧園と、その話に乗った県内の農家たちが結成した「秋川牧園飼料米生産者の会」。目標は「1tどり」。そのくらい本気にやれば、農家のほうも元気が出てくる。



追肥でつくる
たくましい茎



6月25日 (田植え24日後)

10a当たり尿素10kg (チッソ4.6kg) を追肥する海地さん。尿素は水の中で拡散しやすいので、水をたっぷり張って、「ラフにまいてもいい」。北陸193号の1株の茎数は平均10本



8月8日 (出穂約20日前)

押し倒すのが大変なくらい太い茎。茎数は平均で15本。主食用米のように茎数をとってしまうと、病害虫やクズ米に悩まされることになるので、ちょうどいい (倉持正実撮影、以下Kも)

度、一トどりを達成した経験を持つ。さすが、常連トップは伊達じゃない。

穂数でとるんじやなしに、穂の大きさを

「それじゃあ、やりますよ」
生育調査をしていた山口県農林総合技術センターの人たちが、平均の穂数、穂長、草丈などを報告する。みなさん、いったん集合してメモをとる。

一株の平均穂数は一七・八本。坪五〇株植えだから、坪当たり八九〇本しかない。山口県のヒノヒカリやひとめぼれ等の主食用米品種の目標が坪一三二〇本なのに比べると少ないが、驚く様子もない。
「ほら。北陸一九三号つちゅうのは、穂が大きいですいね」

穂首を指に挟んで伸ばしてみると、先端が肘に迫る勢いだ。二七cmの穂には、二・四粒のモミ。モミ

さすが常連トップ

「毎年見てるけどすごいと思うね」

「まともに実が入りゃあ九〇〇kg (一〇a当たりの乾モミ収量、以下も) は下らんじやろう」

後で触れるように、他の人よりも田植えが二〇〜二五日早い (六月一日植え) こともあって登熟が進み、太い茎が穂の重みでしななって、アゼに着かんばかりに垂れていた。

海地さんの平均反収は九〇〇kg前後。過去に一

追肥でとる

●海地博志さん



海地博志さん (70歳)。主食用米2.5haのほか、飼料米2.5haと、酒米、WCSを栽培 (E)

北陸193号の穂。900kg (モミ収量) 以上とれているのは、すべてこの品種 (E)

苗箱処理剤なしで、大敵ウンカを抑えた

中澤健司さん



左から2人目が中澤健司さん(38歳)。稲穂を叩いて、紙にビックリ(K)



激発型の、羽が短いセジロウンカ。主食用米ではそれほど問題にならないが、インド型の血が濃い品種では繁殖しやすい(6月号306ページ参照)(K)

「前よりずっとキレイになっちゃよるね。ウンカが見当たらんよ」と、田んぼの中を歩いていた人が、手で大きく「マル」をつくる。それを見て、田んぼの持ち主・中澤健司さんがホッと、ひと安心。出穂前の1回目の巡回(8月8日)でウンカが多いと指摘され、トレボンとアプロードで叩いたのが成功したようだ。

飼料米はモミ出荷なので、出穂後には防除ができない。1回目の巡回は、盆過ぎから増えるウンカの出方を見る、という意味もある。インド型品種の血が濃い「北陸193号」はトビイロウンカだ

けじゃなく、セジロウンカでも坪枯れが起きてしまうのだ。

苗箱処理剤と中期剤の二段構えなら安心だが、なるべくクスリを使いたくない中澤さんとしてはおもしろくない。苗箱処理剤なし。今年は葉色を低く保ってウンカが素通りしてくれるように、元肥は鶏糞堆肥を300kgと控えめにした。ただ、イネが「爽やかすぎる色」だったので、7月23日に尿素をチッソで4.6kg散布。この量が多すぎたのかウンカが発生。来年は、尿素的量を控えめにしてみる。「いつまでも、同じ人がトップじゃおもしろくないもんね」。

がこれだけ着いても、登熟は悪くない。「多収するんじやからモミはほしいけど、穂数でとるんじやなしに、穂を大きくしたい」それが北陸一九三号の特徴を活かした多収方法だ。海地さんが一tどりを達成したときも、穂数は坪六七三本ともっと少なかった。そして、その年は不稔で白くなったモミも少なく「感動するほどキレイな穂」だったそうだ。このときやつたつくり方が、海地さんの飼料米づくりの雛型になっている。

追肥でつくる、たくましい茎

——巡回から遡ること、三カ月前。田植えから二日後の海地さんの北陸一九三号の田んぼは、主食用米のひとめぼれの田んぼと比べても、葉色が薄く、茎数も少なくて寂しかった。

「北陸一九三号ちゅうのは、生長するとバーツと扇型になって、ものすごい株が張るですいね」

最初から茎数をとろうと茂らせすぎると、風通しが悪くなって病気や病害虫が出るし、出穂後には大きな穂のせいで光が遮られて、見た目ほどとれないことになる。

だから海地さんは、田植え三〜四週後まではうん

とゆつくりにするよう気を使う。元肥には、秋川牧園からタダで運ばれてくる鶏糞堆肥(木質チップの発酵床を堆肥化。チップは約三・六%)を耕耘前に一〇a一t(施肥量は以下も一〇a当たり)入れるだけ。化成肥料はなし。さらに、田植え機のかき取りレバーを限界まで絞って、一株一〜三本をねらった細植えにもする。

「そうするうちに、根は肥やしを求めて泥の中に潜っていくと思うんです。そこでチッソをバーツとやると、今度は一気にダーツと株が張って、見違えるように、ものすげえ『たくましい草(茎)』になるんですいね」

出穂後には太く、大柄な茎に貯えられたデンプンが、穂に流れて稔りをよくする。そのために、積極追肥。一回目、田植え三〜四週間後には尿素を一〇kg(チッソ四・六kg)。さらに、二カ月後の八月初旬(出穂三〇日前頃)には「大きな立派な穂をつくる追肥」として、硫酸を一八kg(チッソ三・八kg)まく。

節間が伸びる時期にこれだけチッソをやると主食用米なら倒れてしまうが、たくましい北陸一九三号なら踏み止まる。



早植えでも100kg増収

もう一つ、登熟歩合を高めるのに海地さんがやっているのが、早植えだ。六月一日植えの田んぼは、二十五日植えよりも出穂が一〇日ほど早まるおかげで、登熟しやすい。海地さんはどちらの時期にも植えるが、同じ管理をしても、一日植えのほうが収量は一〇〇kgほど高いらしい。

「うちも水の条件はほとんど一緒だから、来年はもっと早めてみようかな」と、最年少の中澤健司さんが言う。

堆肥でとる

●三輪利夫さん
原田鉄男さん

遅植えでも地力があれば

海地さんの話に「それじゃあ、小麦が播けんじやろ」と言っていたのが、三輪利夫さん。「パン用の『せときらら』ちゅう小麦もつくって、二毛作を実現しとるんです」。さらに、飼料米のイナワラも畜

産農家に1kg三二円で販売し、「二兎どころか、三兎追う」。

小麦を刈ってから田んぼの準備をするから、飼料米の田植えは六月二十五日以降になる。だが、反収は北陸一九三号で九四三kg、九六八kg……、と海地さんと並ぶ高収量。

大道干拓地にある三輪さんの田んぼは、隅から隅まで葉先がキチーッと揃っていて、圧巻。もちろん、夜中までかかってやるという、ていねいな代かきのおかげでもあるのだろうが、地力がついた田んぼは不思議と満遍なく育つそう。



三輪利夫さん(74歳)。イネ8.5haのうち4.3haで飼料米を栽培(E)

秋川牧園が多収に本気な理由

「今日の朝刊では、円高や重油代高騰の影響で、カップラーメンが値上げされるとありました」、だから価格や品質が不安定な海外輸入の飼料をなるべく減らしていきたい、と続ける秋川正社長。ただし、現状では海外のトモロコシよりも、飼料米(平成24年産は収量に応じて1kg当たり15~36円)を二ワトリに使うほうがコスト高になる。それに今の飼料米価格も、補助金に支えられている部分が多い。だから、反収を底上げしてロットを増やし、集荷や保管等にかかるコストを下げ、根づかせたい。

「戦後まもなく、政府と消費者が農家の方に『たくさんとってください』と団結して応援していた頃、農家も、農業もとっても元気だったんですよ」と、そのときの元気を取り戻したい、と秋川実会長が自分の中学生時代のことを振り返る。

編



秋川牧園の人たち。左から、村田洋課長、秋川正社長、秋川実会長(E)

根の再生と老化防止。
細・毛根の発根促進。
未吸収肥料の可溶化。

発根力は生産の原点。育苗に、生産に！
元気な若い根がドツサリ！
根圏土壌の浄化と活性化。
環境改善、微生物の増殖促進。

発根力

日韓共同開発商品 製造国・韓国



希釈率・500倍液使用
商品規格 500cc、1ℓ、2ℓ、10ℓ
販売ルート開設中 お問い合わせ下さい。

土と水と環境を活かす

発売元 (株) サクシオケイ

〒830-0047
福岡県久留米市津福本町491-11オリентビル5F
TEL 0942-34-8833 FAX 0942-34-7953

三輪さんは過去二〇年間、毎年、合計三トの鶏糞や牛糞を四方八方から集めてきて田んぼをコッコツと肥やしてきた。今年も小麦の播種前に、パーク堆肥を二ト、飼料米の田植え前に秋川牧園の鶏糞堆肥を一トまいた。もちろん、ムギワラもすき込む。「こういう地方のある田んぼのイネは、『第三コーナー』からの馬力が違う」



秋川牧園の鶏糞堆肥を散布。500kgフレコン入りが無料で届けられ、それぞれが必要なぶんだけまく

七月中旬、出穂直後しばらくくまで葉色が濃い。それも「ドス黒いのではなく、自然に青い、素敵な色」で登熟もよい。

ふつうは飼料米を多収しようと思えばチッソで一二kg前後入れる被覆尿素も、六・二kgで十分。今年はそのままで減らしても穂の色づきが遅れるほど肥料が効いてしまったので、来年は四・二kgに減らすつもりだ。

堆肥一発でタダどり

一方、去年まで被覆尿素をチッソで六・二kgまいていた原田鉄男さんは、地力があるからもう必要ないと踏んで、今年に使わなかったという。

毎年、秋川牧園の鶏糞堆肥を一トに加え、牛糞、馬糞、パーク堆肥を三・五ト容量のマニユアスプレッダーで二杯ずつまいてきた。全部が全部、処理に困っていたものを業者からタダで引き取ってきた。

イネの生育も順調。色が冷めたらまこうと思って買っておいた硫安も、使わずに済んだ。肥料代を減らすには、やはり家畜糞を活かすにかぎる。

疎植と草でとる

●中河原営農組合

耕作放棄地が復活

みんなが見守る、坪三七株の疎植の田んぼがある。

「こら、もう並じゃないですよ」
海地さんが呟く。イネもそうだが、田んぼのことだ。

じつは中河原営農組合が北陸一九三号をつくる合計七〇aの田んぼは、二〇年間何も作付けられず、セイタカアワダチソウやらがはびこっ



疎植では、小野信義さんの北陸193号の条抜き田んぼも話題に。坪60株設定にして、6条田植え機の2と5条のところを抜く、「2・5抜き」。今年は穂数がちょっと少なかったけど、来年も挑戦するつもり(E)

ハウス栽培の悩みや課題

アキレスで
解決!

冬を暖かく!

燃料費を削減!
高い保温効果を発揮。
アキレス保温農ビ
ヌクマルシリーズ

原油高で燃料費がかさんで困る!



ヌクマルさらりズ

ヌクマルハウス

ヒートン

あなたの身近にいつも...

Achilles

アキレス株式会社 農業資材販売部
本社/TEL:03-3225-2222(直通)
http://www.achilles.jp



ていたところ。農業委員会で「今どき、こういう小さいところは無理じゃろう」と、五年ほど前に復帰不可能田に指定したのが海地さんなので、よく覚えている。その田んぼに、今、当然のように稔ったイネが植わっている。

もちろん、復帰させるのは大変だった。三月のうちからディスクロータリで草を埋め込んで、通常のロータリで何度も耕耘。大きな草は手で抜いた。四月には高低直しの代かきをして、通常の代かき、そして、ようやく田植え。「こうなると、イネの出来とかは関係ないですよ」と、感動冷めやらぬ海地さん。

疎植で地力を活かす

どっこい、中河原営農組合も目標は「当然、一t」。雑草をたくさんすき込んだので地力は豊富ならず。これを活かし、なおかつ過繁茂にせずに病害虫を抑えたい。事情を試験場に相談したところ「坪五〇株がよからう」とのアドバイス。だが、それだけではおもしろくない。一枚の田んぼだけではもっと粗く、坪三七株にしてみたのだった。

鶏糞堆肥は三〇〇kgと控えて化成肥料はなし。

葉色が冷めた八月初旬に硫酸を一五kg（チッソで三kg）。穂数は一株二二本と多いうえ、穂長も二五cmと大きい。数字だけなら満足の出来。疎植だろうが必要な穂数はとれるのだ。

「ホントは実肥もやりたかったんですけどね。それ



8月8日の、坪37株植えの北陸193号。開張してカッコイイ（K）



中河原営農組合のお2人（E）

は来年に譲ろうと」

「耕作放棄地で一tどりしたら、典型的な優良事例じゃ」とみんなが笑う。

「今どき、イネづくりでこんなおもしろい会はないよね」中澤健司さんがそんなふうにする。

編

飼料イネの田んぼも巡回

思わず、写真を撮りたくなる

「ものすごくおもしろいから、見てつたらいですよ」と、飼料米巡回の帰り道、海地さんに連れていってもらったのが、昨年からはじめた飼料イネ・たちすずかの田んぼだった。

青刈りした茎葉をとるWCS（ホールクroppサイレージ）で収量が上がるように育種された、たちすずか。飼料米向きの多収品種とは対照的に、ひとめぼれやヒノヒカリなどの主食用米

●海地博志さん

よりもずっと小さい穂で、手の平に収まるくらい。一方、草丈はうんと高い。葉先は、身長一六八cmの海地さんの喉のところまで来る。まるで、サトウキビ畑のようだ。初めて栽培してその大きさに驚いた海地さん、思わず奥さんに記念撮影を頼んだくらいだ。

三tどりで一t万円

飼料米の目標が一tどりなら、こちらは三tどりだ。まだイネの青い十月半ばになると、



たちすずか（左）とヒノヒカリの田んぼのあいだのアゼで（E）

連作障害に強い天然特殊肥料 シェルカン・ネオ

数百万年前に一大地殻変動が起こって海底が陸地に変貌し海底時代に棲息していたカキ貝を中心に他の魚介類、プランクトンなどがそのまま土中に閉息、腐植し化石化した物質です。成分はケイ酸・カルシウムを主体として各種の貴重なミネラルを豊富に含有した天然総合ミネラル特殊肥料です。

- 優良粘土モンモリロナイトと有機石灰との相乗効果が特長です。
- 根バ리를助成し生育が旺盛となる。
- 土壌中有効微生物の増殖環境に効果有り。
- 肥料の効きすぎを抑制し、果樹・つるもの徒長を防ぐ効果あり。
- 土壌は若返り肥料濃度障害を軽減します。

※この度、粒状シェルカン・ネオも出来ましたので、よろしく、お願い致します。

カタログは作物明記し請求してください 〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 2-51-4
株アームロック TEL 03-5615-4172
<http://www.arm-rock.co.jp/>
 工場 岩手県一関市厳美町猿鼻 51 ☎ 0191-29-2214

農家の夢をマキタが拓く 最高のコシヒカリ 水稲 種子 **コシヒカリ**

茎が強くて倒れにくい丈夫なコシヒカリを、ついに選抜
しました。籾はコシヒカリである、とDNA鑑定済みです。

マキタライスを試作されたい方は、ハガキに郵便番号、住所、氏名、電話番号を記入して「現代農業」で見たとカタログをご請求ください。すぐに無料でお送りします。



有限会社 **牧田稲研究所**

☎ (0858) 36-2112

〒 689-2113 鳥取県東伯郡北栄町米里 178

EX-1D makita@mail5.torichu.ne.jp ホームページ http://www5.torichu.ne.jp/~makita/



たちずずか(左)とヒノヒカリ。
たちずずかは、スラッと長い茎に
ほんの小さな穂が着く(E)

畜産農家が収穫、梱包しにくる。とれる田んぼでは一〇a当たり約三〇〇kgのロールで一〇本。一kg一〇円の契約なので販売額は三万円だ。加えて、一〇a当たり八万円の助成金がもらえるので、ちゃんと収量をとれば反当一一万円になる。

倒れっこないからとにかく多肥

つこない。だから、とにかく多肥。元肥には飼料イネを販売する先の畜産農家に、海地さんが受け取る耕畜連携助成の一萬三〇〇〇円を渡して、牛糞堆肥を三t(一〇a当たり。以下も)散布してもらおう。それから、主食用米でも使っている元肥一発肥料をチツソで九kg。これだけではまだ不足なので、今度は追肥で草丈を伸ばす。まずは田植え一カ月後に硫酸をチツソで四kg、葉色が冷めたと感じたらさらに四kgを上乗せ。今年忙しくて二回目の追肥をできない田んぼもあったが、

DVD 宣伝

現在編集部では、この飼料米圃場巡回の様子や、各地の飼料米・飼料イネの取り組みや、栽培のコツを撮影したDVD作品を、来年一月末に出すべく編集作業中です。乞うご期待!

そこは葉先が胸元までしかこないくらい丈が短かった。これだけやっても分けつは少ない。過繁茂になるような品種ではないので、収量を上げるため、主食用米や飼料米よりも密に坪六〇株で田植えをする。

でも、海地さんは、堆肥を増やせば収量はもっとたくさんとれると思うのだ。堆肥三tなんて言わずに、四tや五tほどまいてくれないか、と考えているところだ。

編